



8月保育所だより

令和4年7月29日

桑折町醸芳保育所

連日寝苦しい夜が続く厳しい暑さの時期となりました。保護者の皆様には日頃より保育所運営にご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、7月に入り保育所内で新型コロナウイルス感染症陽性者が確認され、濃厚接触者となったクラスの保護者の皆様には多大なるご心配、ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。保育所の子どもたちはマスクをしたり、人との距離をとったりするなどの感染症対策をとれないため、一度ウイルスが入ってしまうとそのクラス全員が濃厚接触者となってしまいます。通常、常に手洗いや消毒、換気に努めておりますが、それだけではどうしようもない状況が7月に起きてしまいました。

現在も、日本全国で感染者数が増加しており、予断を許さない状況ですので、引き続き感染対策にご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に、8月はお盆やお家の方の夏休みもあり、子どもたちもお家の人と一緒に過ごせる時間が多くなるかと思えます。この時期にたくさんお子さんとかかわっていただきますようお願いいたします。また、今年の夏は行動制限が出ていないため、感染拡大地域への移動や感染拡大地域からの人の流れが多くあると思えます。そういった際には、感染症対策を十分行っていただきますこと、移動後お子様を初め、ご家族の健康状態を確認し保育所に登所していただきますよう、よろしくお願いいたします。

<今月の保育の目標>

0歳児

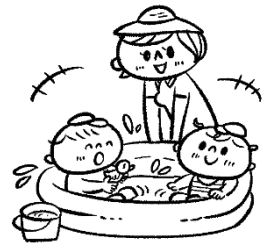
- 暑い夏を元気に過ごす。
- 衣服の調整をしてもらったり、湯水遊びをしたりして、心地よさを感じる。

1歳児

- 水分・休息を十分に取りながら、暑い夏を元気に過ごす。
- 喃語や片言、身振りをやさしく受け止めてもらいながら、自分の思いを伝えようとする。
- 水や砂の感触を感じながら、水遊びを楽しむ。

2歳児

- 気温に合わせて、衣服の調節や水分補給などを行い、健康で快適に過ごす。
- 衣服や靴の着脱、食事などを自分で意欲を持ってやってみようとする。
- プール遊びや泥遊びなど、夏ならではの遊びを保育者や友だちと一緒に楽しむ。



<8月の行事予定>

1～10日(水) PTA 会費集金

※1年分納付済みの家庭には、
集金袋を配布しません。

- 3日(水) すいかわり会
- 24日(水) 避難訓練
- 25日(木) 誕生会
- 30日(火) 夏まつり



今月の合同
保育室も、
ちゅうりっぷ
組です。



<9月の行事予定>

- 2日 運動遊び教室 (さくら組)
- 9日 運動遊び教室 (ひまわり組)
- 16日 交通教室
- 27日 避難訓練
- 29日 誕生会

< 保育所からのお知らせ・お願い >

【実習生受入れ】

7月28日～8月10日福島学院大学、同短期大学部より各1名の実習生（Ⅰ期）を受け入れます。8月17日～30日の期間、福島学院大学短期大学部より1名の実習生（Ⅱ期）を受け入れます。感染対策を実施したうえで受け入れをしますので、ご理解とご協力をお願いします。

【持ち物について】

- * 毎日持ち帰るコップや週末に持ち帰るズック等は、必ず洗って持ってきてください。
- * 着替え等持ち物には、必ず記名をお願いします。以前に書いた名前やシールが薄くなっていたり、取れていたりする場合は、再度、見やすいところに、できるだけ大きく書いてください。

○ 新型コロナウイルス感染症に関するお願い ○（再）

以下のような事案が発生した場合速やかに所長または担任にご報告願います。

- ① 本人または家族が感染した場合 登所できません
- ② 本人または家族が濃厚接触者として特定された場合 本人の場合は、登所できません。家族の場合は、ご相談ください。
- ③ 本人または家族がPCR検査や抗原検査を実施した場合
- ④ 家族の勤務先などで感染の事案が発生した場合
また、
 - ・ 同居のご家族に風邪症状がみられる場合
 - ・ 入所児が 38℃ 以上発熱し、解熱後 24 時間

は、登所を控えてください。

< 各クラスより >

たまご組

今年のだまご組さんは、4～7月生まれのお友達が多く、ほとんどのお友達が1歳を迎えました！とことこと歩けるようになったお子さん、2～3歩歩いて、尻もちをついてしまうお子さん、一人で立ちあがり、もうすぐ一歩が出るお子さん・・・色々な姿が見られます。

初めての一步を踏み出せた時は、私たち保育士も嬉しくなり、拍手喝さいです。それを見ていた周りの友達も、小さな手をパチパチと叩いて嬉しそうです。

その他にもたまご組では、初めての寝返り、初めての離乳食、初めて泣かずに一日を過ごせたなど、たくさんの“初めて”の場面に出会えます。一つずつできることが増えていく姿を、お家の方と一緒に喜び、見守ったり、励ましたりしていきたいと思ひます。



ちゅうりっぷ組

7月は、体調を崩すお友達が多くなり、水遊びをすることがなかなかできなかったため、室内遊びや散歩に出かけ、過ごしました。制作では、手型や足型をとりました。インクや絵の具の感触に不思議そうな表情をして眺めるちゅうりっぷ組のお友達。いろいろな表情を見せてくれてとてもかわいい子どもたちです。



すみれ組

今月は水遊びが数回しかできなかったのですが、室内にプールを準備し、ボールや積み木などをビニールプールの中に入れ遊んで楽しみました。いつも遊んでいるおもちゃでしたが、いつも以上に集中し喜んで遊んでいました。8月の天気の良い日は、水遊びを行いたくさん楽しみたいと思います。

ゆい組

暑い日は、泥んこ遊びや大きなビニールプールに入り水遊びを楽しみました。最初は、泥や水の感触に戸惑うお友達もいましたが、慣れてくると最後まで夢中で遊んでいました。七夕では、「キラキラ星」をクラスで歌いました。歌に合わせて、手をキラキラさせるかわいらしい姿が見られました。ゆい組のお友だちの笑顔がいつまでも続くように、今後も一人ひとりの体調に気を配り、感染対策を徹底しながら見守りたいと思います。



ひまわり組

今年は梅雨の時期が短く、天気の良い日は戸外での水遊びを楽しみました。あまりの暑さに、プールサイドから大きなビニールプールをひまわり組のテラスの前に運び、プールの準備を始めると「プール?」「せんせ〜プール!!」と大喜びの子どもたちでした。ビニールプールの他に大小様々なタライを並べ、水を入れて水遊びが楽しめるように設定しました。水ヨーヨーやじょうろ、バケツに水鉄砲などもたくさん準備して置き、来月も水遊びを楽しみたいと思います。



さくら組

暑い夏がやってきました。プールに入る前には『カエルの体操』の踊りや、準備体操などを皆で楽しんでいます。初めての大きいプールは、最初は戸惑う子もいましたが、保育者と一緒に手を繋いで歩いたり、少しずつ体を水に慣らしたりする中で、楽しめるようになってきています。また、水鉄砲でおぼけの的を狙ったり、ワニ歩きでフープをくぐったりして、水に触れて遊ぶことを喜んでいました。所庭では、皆で育てていたトマトやオクラ、パプリカなどの野菜を収穫し、触ったり匂いをかいだりして興味を持っていた子どもたち。にんじんを抜くことはとても面白かったようで、「大きいのとれた!」「これはまだ赤ちゃんだね」など、お話ししながら楽しんでいました。引き続き、夏の遊びを楽しんでいきたいと思えます。



家庭生活ポイント「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・・より 子どもが大人になる未来の世界から考える 「今の子どもが本当に必要な教育」②

「経験」が「考える下地」になる

人は物事を考える時、自らの経験をもとに考えます。

例えば、目の前に水たまりがあったら大人は避けて通るのが普通です。なぜならば、「水たまりに足を入れると靴が汚れること」が経験上想像できるからです。しかし、その経験がない子どもは「水たまりに足を入れたら面白そう」という本能的な欲求に従って、足を突っ込むことになります。結果、びしゃびしゃに濡れて不快に感じ泣くことになるかもしれません。これは経験しないと分からないことであり、大人が「靴が汚れるから入っちゃダメ」と言葉で教えるよりも「水たまりに入ると靴が汚れて不快な思いをする」ということを身をもって理解できるのです。

子どもは物心がついてから短い期間分の経験しか蓄積されていないので、大人より圧倒的に「考える材料」が少ないです。こどもの「考える力」を育てたいのなら、こどもにたくさんの経験を積ませてあげることが重要です。大人が「あれもだめ」「これもだめ」とこどもの意思や行動を阻害すれば、いつまで経っても子どもの「考える材料」は集まりません。その結果、自発的に考えることが出来ない人間になってしまうのです。

子どもは経験を繰り返すことで、ようやく知識を習得できる

大人は子どもが失敗しないように先回りをしがちです。「間違えることが悪」という日本人独特の思い込みによる部分もあるかもしれません。失敗しなければ覚えられないこともあります。「失敗する経験」は、「成功する経験」と同じくらい大切です。失敗するにせよ成功するにせよ、とにかく経験させること。それが考える力を育むために重要なプロセスです。子どもの経験を増やすために大人ができることは、何事も経験できる環境を整えてあげることです。子どもがやりたいという気持ちを認め、尊重することで、子どもは積極的に経験を学び得られるのです。

⇒9月保育所だよりに、つづく。

出典：健康教育 2022年4月号